



関西香美市ふる里会

お知り合いの方に、香美市出身で関西圏にお住まいの方がいましたらご紹介ください。
 連絡先 関西香美市ふる里会
 ☎06-6972-0373

4月24日、第4回関西香美市ふる里会（南 顕会長）が大阪市東成区の土佐料理みなみで開催されました。

同会は、関西在住の香美市出身者が旧交を温め、香美市と関西のかけ橋になろうと活動しており、合併以前から続いていた土佐山田ふる里会を発展的に継承して関西香美市ふる里会となり、今回は香美市からの参加者9人を含め、約60人が集まりました。

懐かしい話や、香美市へのエールなどの話題で盛り上がりました。会長の協力により、会場前で香美市観光協会と香美市地域雇用創造協議会による香美市物産展も開催され、ユズやショウガの加工品や鹿肉の串カツなどが販売され、たくさんの人でにぎわいました。

庁舎建設状況



市役所新庁舎の建設状況（7月20日現在）については、4階の工事に切り掛かりました。写真は新庁舎4階東側から西向きに撮影したものです。

 姉妹都市交流だより

第19回YOSAKOIソーラン祭りが6月9日から5日間、札幌市で開催され、大勢の観客で賑わいました。

今年は、踊り子隊と訪問団総勢31人が参加し、姉妹都市積丹町と16年連続でヤーレンソーラン積丹町&香美市※を結成し、参加しました。

一行は、11日に積丹町に着き、初の合同練習を行いました。12・13日の両日は、大通公園をはじめとする札幌市内の会場で繰り広げられた本祭に参加し、合同チームは6会場で、高知県のよさこい鳴子踊りと積丹町発祥の民謡ソーラン節を融合させた楽曲によって、笑顔と掛け声で元気よく踊り、大きな拍手と声援をいただきました。

※香美市19人・積丹町40人の総勢59人の踊り子隊が参加。



YOSAKOIソーラン祭りに参加

香美市姉妹都市友好都市交流推進協議会（西山武会長）が主体となって、毎年行われている積丹町への訪問・交流事業（6月26～28日）が行われ、9人の訪問団が積丹町を訪れました。

香美市からの参加が今年で14年目となる味覚祭りでは、とれたてのウニ・エビ・ホタテなどが入った直径1.5mの大鍋で作る浜鍋など、積丹町ならではの味覚を存分に楽しめます。夜間は納涼祭や打上げ花火も行われ、札幌市内からも多くの観光客が訪れる盛大なお祭りです。

訪問団は、会場で香美市の地場産品である土佐打刃物や、ユズの関連商品を販売したほか、高知県の味覚を代表する鰹のたたきを販売し、客足が途絶えないほどの盛況ぶりでした。

積丹町味覚祭りに参加



大好評のゆずドリンク



大宮小児童 田植えに挑戦！

6月8日、大宮小学校の5年生32名が田植えに挑戦しました。この行事は、米の栽培を通して、農業の役割や食生活の重要性を知ってもらうことを目的に毎年行われています。

体験学習田を管理している本田地区集落協定の方から田植えの説明を受けた後、児童たちは横一列に並んで、もち米の苗を植えました。はじめは慎重に足を運んでいた児童も、慣れてくると、はしゃぎながら植える場面も見られました。

今後、子どもたちは、稲の成長を観察していき、秋には収穫を行う予定です。



社会を明るくする運動 決起集会！

7月の『第60回社会を明るくする運動強調月間』にあわせて、7月1日に土佐山田町の八王子宮境内で同運動推進委員会主催による決起集会が開かれ、市内の各種団体や企業などから約190人が参加しました。同運動は、犯罪や非行の防止と、罪を犯した人たちの更生に理解を深め、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な運動です。集会終了後には、県警音楽隊を先頭にパレードや、広報車の巡回などが行われ、運動への理解を呼びかけました。



繁藤慰霊祭

7月5日、繁藤山崩れ殉職・殉難者追悼慰霊祭が哀悼の広場（土佐山田町角茂谷）で執り行われました。慰霊祭には、遺族や関係者ら約100人が参列し、犠牲者のめい福を祈りました。遺族会長で祭主の西岡統一さんは参列者を前に、「私たちには繁藤災害を風化させることなく後世に伝えていく責務がある」と、思いを語られました。

繁藤災害は昭和47年7月5日、豪雨により追廻山が崩壊し、消防団員1名が生き埋めになり、救助活動中に再び大きな山崩れが発生し、新改川で流され亡くなった1名とあわせて、61名が犠牲になりました。

土佐山田町体育会功労賞



6月30日に行われた平成22年度土佐山田町体育会総会で、土佐山田町体育会に顕著な功績のあった個人に贈られる功労賞が、幾井洋一さんと神保湧作さんに贈られました。

幾井さんは旧土佐山田町においてスキーツアーを企画実施するとともに、スキークラブを設立させ、広く町民へのスキーの普及に尽力されました。

神保さんは高知国体を契機に、ソフトボールの第1種公認審判員を取得し、高知県ソフトボール協会の運営に寄与し、土佐山田町体育会においても副審判長として地域のソフトボールの普及振興に尽力されました。